

2018/4/16-4/22

デボーションガイド 「ユースマナ」

詩篇 27:4

私は一つのことを主に願った。
私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。

2018/4/16(月)

創世記 44:18-34

ヨセフは、末の弟のベニヤミンだけが奴隷となり、他の兄弟たちは父のところに帰るように伝えました。ヨセフはなぜこのようなことを仕組んだのでしょうか。ヨセフの心を考えてみましょう。

ユダはヨセフに勇気を出して交渉します。ベニヤミンを連れ帰らなければ父のヤコブは悲しみのうちに死んでしまうと思えたからです。ユダはヨセフに敬意を表しながらも、自分の願いを率直に述べました。そして自分がベニヤミンの身代わりとなって奴隷となることを申し出たのです。そこには、かつての姿とは全く違うユダの姿がありました。

イエスキリストは、ユダの子孫としてこの世にられました。この方は私たちを愛し、私たちの罪の身代わりとなられた方です。イエス様がどのような思いで私たちの罪の身代わりとなってくださったか、イエス様の心に思いを向けましょう。

2018/4/17(火)

創世記 45 章

ヨセフは兄達の心が本当の悔い改めに導かれている姿を見て、自分を制することが出来なくなって泣きながら自分がヨセフである事を兄達に明かしたよ。それは悲しみの涙ではなくて、兄達が妬みによって悪巧みしたことさえも神様は良い事の計画として下さった神様の大きさに感動した涙だったよ。神様は自分だけではなく家族、周りの国さえも救うために自分をういて遣わしてくれたことを受け取れたヨセフは、兄達を赦すことが出来たんだよ。そして父を呼び寄せるように言ったんだ。誰かの救いのためにきみは今の学校、地域にいるよ！！遣わされた場所として周りの人を愛そう！！

2018/4/18(水)

創世記 46:1-27

ヤコブは、エジプトへ向かう途中、ベエル・シェバまで来たとき、夜の幻の中で二度彼の名を呼ぶ神の声を耳にした。その時、ヤコブは即座に「はい。ここにいます」と答えた。神様はヤコブに、エジプトに下ることを恐れるなど仰せられ、彼をエジプトで祝福すると約束された。神ご自身がヤコブと同行し、導くと宣言された。ヤコブはそのことに大いに力を得、励まされた。そして、ヤコブは、息子、孫、すべての子孫を連れてエジプトに来た。それは、総勢 70 人であった。70 人が一同に勢ぞろいしてエジプトに向かった姿は、かつて神がアブラハムに与えた祝福の約束が確かに実現したことを描いている。ヤコブは、年をとっても主の前に「はい。ここにいます」と、少年のように答えた。主は私たちを呼んでくださっている。私たちも主の前に静まり御声を求めよう！いつも主に信頼して歩むことができますように。

2018/4/19(木)

創世記 46:28-34

20 年の空白を経てヨセフとヤコブは再会した。ヨセフは大国エジプトで大臣という高い地位を得ていたが、喜びのあまり父と再会した瞬間、29 節「泣き続けた」とある。そして、30 節であるように父ヤコブにとっても格別なものだったことが分かる。3 節で、「エジプトに下ることを恐れるな」と言われたのは、カナンはその後もききんが続くので、生活のためにもエジプトが暮らしやすかったからである。神様は私たちの目には分からない大きな計画を用意されている。どんな時も神様に聞き従い続けることが出来るよう祈ろう！！

2018/4/20(金)

創世記 47 章

ヤコブはヨセフに対して感謝をしていました。それは同時に神への感謝でした。それは不幸の中で彼が受け取ったことでした。神様は時に、私達に降りかかる厳しい状態を用いて私達を成長へと導く事もあります。神様の道を歩むのは自分が選び取る必要があります！私達を様々な方法で成長させる神様に信頼しよう！！ヤコブがヨセフにおじぎで感謝を表した様に、私達の間でも感謝を表す必要があります！感謝を表すべき時を逃さずに行っていこう！愛を持って家族や友達に感謝する事を選び取っていけるよう祈ろう！

2018/4/21 (土)

創世記 48 章

ヤコブは死の間際に、会いにきたヨセフやこどもたちに最後のことばを残した。それは神様が羊飼いで自分たちが羊であるという話だった。羊はどんな生き物かというところ…一匹では生きるのが難しい、遠くから綺麗に見れても、近づくにつれ汚れる。先を歩いて導いてくれる人が必要。…それは今の私たちにも言えることなんだ。そして、ヤコブは自分の人生の中で羊飼いである主を知り、その恵みを次の世代へと流した。主は私たちの羊飼い。そして私たちは羊飼いである主を必要としている羊であることを受け取り、神様を見上げていこう！

2018/4/22(日)

創世記 49 章

ヤコブが息を引き取ろうとした時に 12 人の子どもたちに語った遺言がここに記されています。ヤコブは 12 人の子どもたちの長男から末子に至るまで全員の名前を呼んで語りました。ヤコブが子どもたちに語った内容は異なっていてシメオンとレビへのことばなどは祝福しているとは思えない内容です。しかし、それを含めて神様に選ばれたヤコブは一人一人にふさわしい祝福を与えました。私たちは子どもたちや次世代の人たちにどのようなことばをもって神様の祝福を伝えていくことができるか考えてみましょう！

